



「おりこう ism 未来の自分は今日の自分がつくる 未来の社会は私たちがつくる」

商業に関する学科と家庭に関する学科の相乗効果により、広い視野と豊かな人間性を育み、地域社会で活躍できる人材を育成する。

おりこう Life (教育課程編成・実施方針 カリキュラム・ポリシー)

おりこう 3C の育成

主体的・対話的で深い学びの実践

- ・抜群の資格取得率を誇る高い専門性
- ・文房具としての ICT の活用
- ・考査点 100：活動点 100 の観点別評価
- ・大学や企業と連携した特別講座
- ・I Can テストの実施
- ・学科間連携「おりこうカレー」

豊かな人間性を育む多様な他者との協働

- ・地域行事への参加や企画提案
- ・保育園との交流など学校開放講座
- ・学科の学びの集大成「ひいらぎ祭」
- ・学年、学科のつながりを強める「体育大会」「修学旅行」
- ・仲間と伸びる部活動

独自のキャリア教育「I Can プラン」

- ・自己の能力を最大限に引き出す「おりこう手帳」「キャリア・パスポート」
- ・様々な分野を体験できる「インターンシップ」「大学訪問」
- ・専門性、資格を活かした進路

- 新たな価値を創造する力 **Creation**
- 課題解決に挑戦する力 **Challenge**
- 多様な人々と協働する力 **Collaboration**



組織的な授業改善とその取組

【授業改善に向けて】

【ハイブリッド型学習の推進】

1 実践研修



「Google Classroom」「アンケート結果の共有」

各種研修の実施

Google Classroom や Google Meet の体験型研修を実施  
→ ICT 機器活用について Google スライドを用いて意見共有

生徒対象の「ICT 機器活用に係るアンケート」の結果を全職員で共有  
→ 生徒の声を生かした授業改善

2 学校全体で学びの共有

①AL 通信



折校 AL 通信

AL 通信を通して学びの情報共有

パフォーマンス課題と評価が一体となった授業改善の提案  
→折高スタイルの推進

②AL 発表



「英語コミュニケーションⅠ」

日頃の授業の成果を全校生徒の前でプレゼンし学びを共有  
→深い学びの実現

1 ICT 機器活用

①スマートフォンの活用



「子ども文化」

OneDrive (クラウド) に保存された動画を視聴し気付きに印を入れてクラウド上にアップ  
→クラス全体で瞬時に課題を可視化



「ファッション造形基礎」



「Google Forms の活用」

授業導入の際に、生徒個人のスマートフォンを利用してアンケートを実施し、その結果を提示  
→クラス全体で瞬時に学びの共有

★ループリック(評価基準)や授業アンケートを Forms で実施しデータを蓄積

②Chromebook の活用



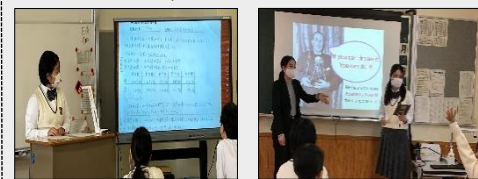
「企業の安全性」についての話し合い Google Jamboard の付箋機能を活用 自分の意見を入力後グループで付箋を整理・分析



「財務会計Ⅰ」

各グループの分析結果をクラス全体で共有することで各自の意見の広がりや深まりが実現!

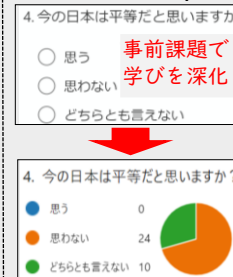
③書画カメラ/iPad の活用



「会計リテラシー探究」講座 「英語表現」  
様々な ICT 機器を効果的に活用しながら、パフォーマンス活動を実施 → プレゼン力がアップ

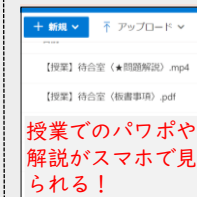
2 オンデマンド型学習の推進

①Office365(反転学習)



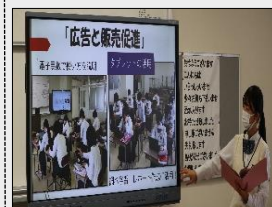
自宅での OneDrive (クラウド) 上の課題に取り組み、授業は生徒たちの意見を共有するところから始める  
→問題意識を持って授業に臨むことで学びを深める  
「現代社会」

②Office365 (授業アーカイヴ)



授業で使った PowerPoint や解説を OneDrive (クラウド) にアップ → スマートフォンでいつでもどこでも学習可能に!  
「現代文B」

3 体験入学にて



「広告と販売促進」

本校の授業内容を在校生が中学生に紹介  
→電子黒板を活用し日頃の取組が生かされたプレゼン!

成果

(職員) ICT 機器活用率

100%

「職員の ICT 機器活用率」昨年度 98% → 今年度 100%!

- ・書画カメラで…製図の手順(家庭)、筆の動き(書道)、簿記の解法(商業)を投影
- ・iPad で…ソフトボールのバッティングを撮影し自分のフォームを確認(体育)
- ・Chromebook で…スプレッドシート、Jamboard、ドキュメントを活用(複数教科)

(生徒) ICT 機器活用率

89%

「生徒の ICT 機器活用率」昨年度 40% → 今年度 89%!

- ・オンデマンド教材で、家での復習がしやすくなった
- ・「生活と産業情報」で Excel を学び「フードデザイン」の食の計算表で活用できた
- ・目的のものを探すために、様々な検索方法を試すようになった
- ・ICT 機器への苦手意識が薄れ、高校での活用経験は社会に出ても活きると思う

課題

アンケート回答の中には「もっといろいろな授業で使ってほしい」「トラブルがあると授業が中断する」「Chromebook は使い慣れない」等の意見もありました。職員も生徒も ICT 機器に慣れること、また、職員は ICT 機器の効果的な取り入れ方を研修等を通して学び、互いの活用法を共有し、失敗を恐れず実践していくことが必要だと感じています。今後は 1 人 1 台端末の整備によって個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現のため、学校全体で学びあっていきたいと思っています。